



# 2021 年度 iNARTE PS Engineer/Technician 資格試験 ご案内

一般社団法人 KEC 関西電子工業振興センター  
iNARTE/Japan PS 分科会  
2021 年 1 月

## iNARTE 資格制度と日本への導入経緯

iNARTE : International Association for Radio, Telecommunications and Electromagnetics, Inc.

|        |  |
|--------|--|
| 1982 年 | NARTE は非営利の認証団体として発足<br>規制緩和と米国連邦通信局 (FCC) の技術者養成奨励の意向を受け、<br>NARTE は技術者の資格認証業務を開始     |
| 1988 年 | US Navy (米国海軍) の要請を受け、NARTE EMC 技術者資格制度を発足   |
| 1998 年 | NARTE と KEC が業務提携し、日本国内での NARTE 技術者資格推進を KEC が担い、<br>日本国内で日本語にて NARTE EMC 資格試験を実施・導入開始 |
| 2004 年 | NARTE が NARTE PS (Product Safety) 技術者資格制度を発足   |
| 2006 年 | KEC が日本国内で日本語にて NARTE PS 資格試験を実施・導入開始  |
| 2007 年 | 米国外にも NARTE 技術者資格を展開すべく、NARTE⇒iNARTE と名称変更   |
| 2012 年 | iNARTE は世界有数の個人認証団体 RABQSA の傘下となり、<br>RABQSA は 翌 2013 年 Exemplar Global, Inc. と名称変更    |

## 2021 年度 iNARTE PS Engineer/Technician 資格試験

日 時 : 2021 年 6 月 11 日(金) 9:00~17:45 (受付 8:30~)  
募集期間 : 2021 年 2 月 1 日 (月) ~5 月 31 日 (月)  
詳細は K E C ウェブサイトに掲載 (定員になり次第締切)  
受 験 料 : 16,000 円 (消費税込)  
尚、合格された方には別途認証料 13,000 円が必要です

| 地区 | 会場                   | 定員   |
|----|----------------------|------|
| 大阪 | CIVI 研修センター新大阪東 E705 | 25 名 |
| 東京 | 日本教育会館 第三会議室         | 15 名 |



### <試験要領>

午前 (Part1) 48 問 / 4 時間、午後 (Part2) 48 問 / 4 時間、合計 96 問/8 時間  
各 Part 48 問から 40 問のみ解答する選択解答式  
各問 3~5 者選択肢からの択一マークシート方式  
合格基準は、Part1 と Part2 の得点を合算平均し、70%以上とする

### <持込可能物>

筆記用具(濃い鉛筆・消しゴム)、関数電卓等の計算用具、参考資料、パソコン (外部接続禁止)

### <禁止事項>

試験中携帯電話 OFF(マナーモード禁止)  
無線 LAN, インターネット等接続禁止  
試験問題の転写禁止

### <オープンブック方式と事前整理の必要性>

参考資料・パソコンに取り込んだデータの持込可。  
持込資料に制限はないが、3~5 冊程度にし、索引を作っておくなど事前準備を推奨します。

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 拡大により、本資格試験を中止する場合は  
5 月 14 日(金)までに申込者に連絡をし、弊センターウェブサイト中止の案内を掲載いたします。  
また「三つの密」を避けるため、募集定員数を削減しております。ご理解、ご協力お願い致します。

## 《受験資格》

【 受験に必要な経験年数と資格認証に必要な経験年数表 】

| 卒業区分<br>(理工系推奨)                      | 経験年数 | エンジニア                 |                       | テクニシャン                |                       |
|--------------------------------------|------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
|                                      |      | 受験資格<br>経験年数<br>(年以上) | 資格取得<br>経験年数<br>(年以上) | 受験資格<br>経験年数<br>(年以上) | 資格取得<br>経験年数<br>(年以上) |
| 高等学校卒業生                              | 3    | 3                     | 9                     | 1                     | 6                     |
| 高等専門学校(本科)、短期大学<br>又は本会が認定した専門学校 卒業生 |      |                       | 7                     |                       | 4                     |
| 学士学位 取得者                             |      |                       | 5                     |                       | 2                     |
| 修士学位以上 取得者                           |      |                       | 4                     |                       | 1                     |

- 受験資格 ① Product Safety (製品安全) 業務に従事していること。  
 ② 受験資格経験年数として、Engineer は 3 年 Technician は 1 年以上を要する。  
 ③ 3 人の推薦が必要。(受験申請書に推薦書が含まれている)

## 《出題カテゴリー》

| No | Subjects  | No | Subjects  |
|----|---|----|---|
| A  | Connection to supply<br>電源への接続                    | N  | Equipment design<br>機器設計  |
| B  | Isolation of supply<br>電源部の絶縁                     | O  | Hazard analysis<br>危険性の分析   |
| C  | Mechanical hazards<br>機械(物理)的危険性                  | P  | Risk assessment<br>危険度の評価   |
| D  | Earthing<br>接地構造                                  | Q  | Design review<br>設計審査   |
| E  | Types of Insulation<br>絶縁の種類                      | R  | Legislation US, EEC and International<br>国内・諸外国・国際規格                  |
| F  | Protection against electrical<br>感電に対する保護 shock   | S  | Civil Electrical Safety Standards<br>民間電気安全規格                         |
| G  | Resistance to fire<br>難燃性能                        | T  | Safety tests<br>安全性試験   |
| H  | Fire hazards<br>火災の危険性                            | U  | Assessment authorities<br>評価監督官庁                                      |
| I  | Limits on fuel<br>可燃物の制限                          | V  | Competent Bodies<br>認証機関  |
| J  | Limits on heat<br>発熱の制限                           | W  | Safety certification<br>安全認証  |
| K  | Insulation damage<br>絶縁の損傷                        | X  | Declarations of Conformity<br>適合性宣言                                   |
| L  | Creepage and clearance<br>絶縁距離                    | Y  | Operating and maintenance instructions and<br>handbooks. 取扱説明書・マニュアル類 |
| M  | Inter system and intra system design<br>装置間・装置内設計 |    |   |

## 資格の効用

製品安全の技術知識と経験を有するとの客観的な証明となる

試験所認定を取得する場合に資格保有者の存在が求められる場合がある

より高いレベルへの PS (製品安全) 技術者への動機付けとなる

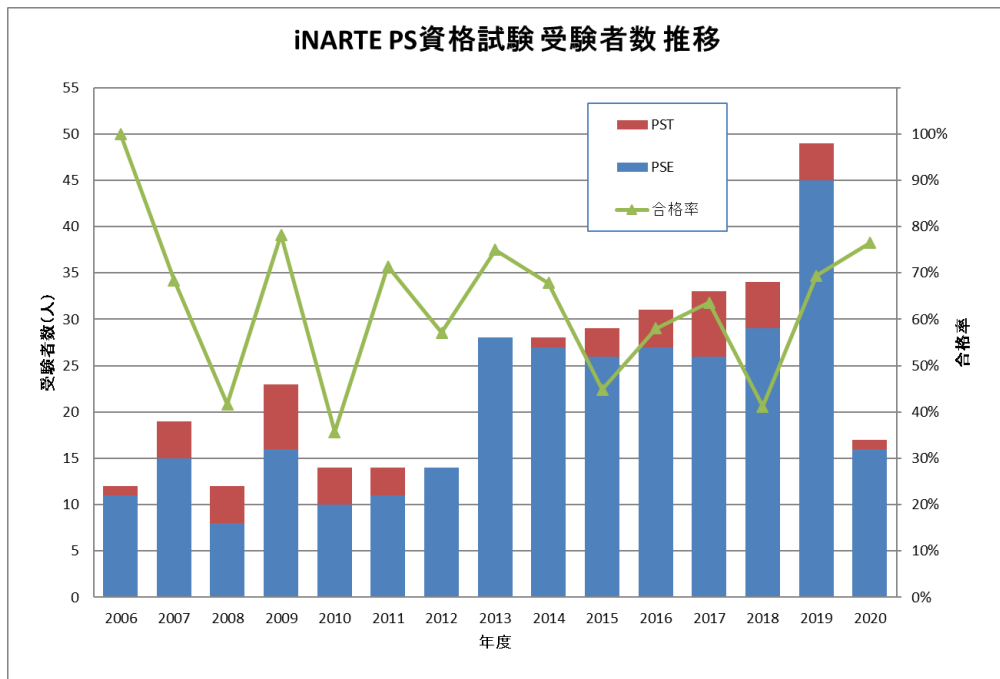
## 《年次更新について》

資格取得後、1 年毎の更新と活動報告書の提出が必要です。

更新料：エンジニア 16,000 円      テクニシャン 15,000 円 (消費税込)

【参考】

《iNARTE PS 日本国内の受験者数・合格率の推移（第1回（2006年）～第15回（2020年）》



【問題例】

【問題例 1】 【 出題カテゴリ：B.電源部の絶縁 】

オーディオ・ビデオ機器において、二重絶縁または強化絶縁を跨いで接続することができるブリッジコンデンサに対する以下の要求規定において（ ）内に当てはまる正しい組み合わせはどれか？  
 -IEC60348-14:2005、サブクラス (a) に適合する単一のコンデンサ、  
 または -IEC60348-14:2005、サブクラス (b) に適合する単一のコンデンサ、  
 ただし 試験サンプルの中性線 または 接地線に対する定格電圧が (c) ボルトを超えない事、  
 または -IEC60348-14:2005、サブクラス (b) または (d) にそれぞれ適合し、  
 直列接続された 2 個のコンデンサ。

- (A) : (a)Y2 , (b)Y1 , (c)100 , (d)Y2
- (B) : (a)Y1 , (b)Y2 , (c)150 , (d)Y4
- (C) : (a)Y1 , (b)Y2 , (c)250 , (d)Y4
- (D) : (a)Y2 , (b)Y1 , (c)300 , (d)Y4

【問題例 2】 【 出題カテゴリ：N.機器設計 】

「オーディオ・ビデオその他これに類する電気機器の安全規格 (IEC60065)」では、『機器は正常使用時、若しくは故障時に 特に 次の場合に危険が生じないように設計され組み立てられていること』と定義されているが、下記の4つの内、定義に含まれていないのはどれか？

- (A) : 火災に対する人体の保護
- (B) : 加熱に対する人体の保護
- (C) : 感電に対する人体の保護
- (D) : 落雷に対する人体の保護

お問合せ先：一般社団法人 KEC 関西電子工業振興センター

iNARTE Japan PS 分科会事務局：石住 隆司  
 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台 3 丁目 2 番地 2  
 TEL:0774-29-9041 E-mail: narte-safty01@kec.jp

お申込みはこちら

[https://www.kec.jp/seminar/narte\\_ps21/](https://www.kec.jp/seminar/narte_ps21/)